



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社デジタルハーツ 上場取引所 東
 コード番号 3620 URL <http://www.digitalhearts.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)宮澤 栄一
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)風間 啓哉 (TEL)03(3379)2053
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,618	—	464	—	463	—	244	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 233百万円(—%) 23年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,222.14	4,097.33
23年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,844	2,038	71.7
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,038百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 23年3月期期末配当金の内訳 普通配当500円00銭 記念配当250円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,057	—	721	—	701	—	357	—	6,176.26

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (DIGITAL Hearts Korea Co., Ltd.)、除外 1社

(注) 詳細は、添付資料6ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	57,921株	23年3月期	57,885株
24年3月期2Q	—株	23年3月期	—株
24年3月期2Q	57,907株	23年3月期2Q	57,792株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期数値、前期数値、対前年同四半期増減率及び対前期増減率については記載していません。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	6
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3.	四半期連結財務諸表	7
	(1) 四半期連結貸借対照表	7
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) セグメント情報等	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(7) 重要な後発事象	12
4.	(参考)四半期財務諸表(個別)	13
	(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)	13
	(2) (参考)四半期損益計算書(個別)	
	第2四半期累計期間	14
	(3) (参考)四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)	15
5.	補足情報	16
	(1) 事業等のリスク	16
	(2) 生産、受注及び販売の状況	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同四半期等との比較は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響で各産業界が大きく停滞する中、サプライチェーンの回復等により一部個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境においては依然として厳しい状況が継続しており、さらに欧州の財政不安及び円高の長期化により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループを取り巻くコンシューマゲームや携帯電話、アミューズメント機器をはじめとする開発市場におきましては、低下した消費者マインドや、消費活動の成熟化に伴い多様化するユーザー嗜好にも十分な訴求力を持つ製品需要に対応するため、これまで以上に完成度の高いソフトウェアを、より低コストかつスピーディに開発することが求められるようになりました。このため、メーカーや開発会社は人件費の削減に加え、高品質な製品の開発に経営資源を集中することを目的としてデバッグ工程をアウトソーシングする傾向にあり、この傾向は引き続き拡大していくものと見込んでおります。

このような経営環境において、当社グループでは「Made in JapanからChecked by Japanへ」というスローガンのもと、今後さらに増加すると見込まれる消費者的視点からのユーザーデバッグ需要に備えるとともに、高品質なサービスを提供し、受注拡大に努めて参りました。

また、開発市場のグローバル化に伴い、海外におけるデバッグ需要の拡大が見込まれることから、平成23年7月に韓国に連結子会社であるDIGITAL Hearts Korea Co., Ltd.を設立し、平成23年8月にタイ王国のDigicrafts Co., Ltd.と合弁会社設立を視野に入れた業務提携を行う等、海外拠点との連携を図った営業体制及び業務体制の整備、強化に努めて参りました。

なお、DIGITAL Hearts Korea Co., Ltd.につきましては、当第2四半期連結累計期間は投資段階であり、人材の確保及び教育に注力して参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,618,371千円、営業利益は464,953千円、経常利益は463,047千円、四半期純利益は244,491千円となりました。

当社グループは当第1四半期会計期間より当社グループのセグメントを見直し、「デバッグ事業」を報告セグメントとし、3Dコンテンツ制作事業等は「その他の事業」の区分として集計することと致しました。

なお、当社グループの報告セグメントはデバッグ事業のみとなりますが、関連市場の動向及び当社グループの取り組みは事業分野別に記載しております。

① デバッグ事業

(i) コンシューマゲームリレーション

日本国内のコンシューマゲーム市場におきましては、東日本大震災の影響やミリオンタイトルが無かったことにより、当第2四半期連結累計期間に販売されたゲームソフトの販売市場規模は前年同四半期比78.7%(平成23年9月末時点、エンターブレイン調べ)と大幅に縮小致しました。

しかしながら、新型ハードウェアであるニンテンドー3DS™やPlayStation® Vita向けにヒット歴

を持つシリーズの続編タイトルが続々と発表され、平成23年9月に開催された「東京ゲームショウ2011」では、ハードウェア・ソフトウェア共に注目を集め、過去最高の来場者数となるなど、年末商戦に向けての盛り上がり期待されております。

このような状況のもと、ニンテンドー3DS™やPlayStation® Vitaの登場に伴って、各ソフトメーカーの年末商戦に向けた開発タイトル数は増加傾向にあり、当社グループはそれらの受注活動に注力して参りました。

また、前期より既存顧客からの信頼と満足度を向上させるべく、ユーザーデバッグサービスの品質向上とともに差別化を図った提案営業に努めてきた結果、複数の大型案件の受注に繋がり、既存顧客からの当社グループへのアウトソーシング比率を高めることができました。

その結果、年末商戦に向けた市況の盛り上がりに加え、既存顧客からのアウトソーシング比率が上昇し、当第2四半期連結累計期間のコンシューマゲームリレーションの売上高は1,360,885千円となりました。

(ii) デジタルソリューションリレーション

日本国内のモバイル市場におきましては、平成23年4月から8月の携帯電話国内出荷台数が1,243万台となり、前年同期比91.4%(社団法人電子情報技術産業協会調べ)と減少しているものの、各通信会社の夏モデルの販売が好調であり、7月、8月の国内出荷台数は前年同月を上回るなど、堅調に推移しております。また、国内における平成23年9月末の携帯電話の契約数は1億2,312万件(社団法人電気通信事業者協会調べ)と依然として大きな規模を保ちつつ拡大しております。

また、OSが世界共通であるスマートフォンの普及に伴い、モバイルのコンテンツビジネス市場においてはグローバル化が加速し、さらに、スマートフォン向けアプリは、ゲームを筆頭に健康管理や生活情報、ビジネスで利用できるアプリ等、多種多様な分野向けに開発が進み、その数は急速に増加しております。

このような状況のもと、当社グループは、前期から引き続きモバイルコンテンツの海外展開支援サービスに注力するとともに、ソーシャルゲームコンテンツ運営に必要な一連の業務をパッケージ化したワンストップソリューションサービスの受注拡大に努めて参りました。

さらに、当社グループではこれまでに培ったゲーム、モバイルアプリのデバッグ経験を活かし、多様化するビジネスアプリや、モバイルと連動するWEBシステム・業務システム等のシステム検証の営業活動にも注力して参りました。

その結果、顧客ニーズに合わせたサービス展開及び新規取引先の開拓が案件数の増加に繋がり、当第2四半期連結累計期間のデジタルソリューションリレーションの売上高は544,236千円となりました。

(iii) アミューズメントリレーション

日本国内のパチンコ・パチスロ市場におきましては、平成22年のパチンコ参加人口が1,670万人と前年より50万人減少したこと等の影響により、パチンコホールでは、パチンコ機の新台入替需要が減速致しました。一方、パチスロ機におきましては、ゲーム性の魅力向上等により、稼働が改善し、市場環境は回復基調にありました。

その結果、平成22年のパチンコ・パチスロ市場規模は19兆3,800億円と前年より縮小致しました(平成23年8月、レジャー白書2011)。

このような状況のもと、当社グループでは、既存顧客からのアウトソーシングを促すため、ファン目

線での開発に貢献しうる独自のモニタリングサービスである「DH EYE」の企画提案等による差別化を図った営業活動に注力致しました。

また、通常のユーザーデバッグ工程より上流の開発工程に対して、開発補助サービスの提供やソリューション提案を行うことにより、顧客ニーズを捉えたサービス提供に努めて参りました。

その結果、東日本大震災の影響により案件の稼働が一時的に悪化したものの、6月以降は改善し、大型案件を受注するなど第2四半期以降は堅調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間のアマミューズメントリレーションの売上高は712,631千円となりました。

②その他の事業

3Dコンテンツ市場におきましては、「アバター」を契機とした世界的な3D映画化の進行や3D対応テレビの普及等、3Dコンテンツに対する需要は増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、2D映像素材を分析し、3D映像へと変換・生成する作業であるロトスコープ作業等の技術の習得や、グローバルな人材の育成に注力して参りました。

また、平成23年7月に設立致しましたDIGITAL Hearts Korea Co., Ltd.では、優秀な3D関連のクリエイターの確保に努め業務体制を構築するとともに、新規顧客獲得のため、映像関係業界を中心とした営業活動に注力致しました。

Fuguai.com事業におきましては、平成23年5月にはサイトをリニューアルオープンし、平成23年8月には「グッドデザインエキスポ 2011」に出展する等、ユーザーの利便性を高めるとともに認知度の向上に注力し、収益化に向けた活動に努めて参りました。

以上のように、当第2四半期連結累計期間においては、今後の収益化に向けた体制整備に注力するとともに、営業活動に努めた結果、その他の事業の売上高は618千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産の残高は2,093,509千円となりました。

これは、主として売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産の残高は750,782千円となりました。

これは、主として事業規模の拡大に伴い実施した名古屋営業所、札幌Lab.(ラボ)及び京都Lab.(ラボ)の増床並びにデバッグ機材の購入により有形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は795,368千円となりました。

これは、主として未払費用及び未払法人税等が増加したことによるものであります。

固定負債の残高は大きな増減はなく10,651千円となりました。

(純資産)

純資産の残高は2,038,271千円となりました。

これは、主として四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、1株当たり750円の期末配当を実施したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は1,045,489千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は239,207千円となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益463,047千円、未払費用の増加額151,234千円及び減価償却費37,786千円等の資金増加項目が、売上債権の増加額310,249千円及び法人税等の支払額116,168千円等の資金減少項目を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は194,304千円となりました。

これは、主として定期預金の預入による支出100,000千円及び事業規模の拡大に伴い実施した名古屋営業所、札幌Lab.(ラボ)及び京都Lab.(ラボ)の増床並びにデバッグ機材の購入に伴う有形固定資産の取得による支出76,639千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は44,371千円となりました。

これは、主として配当金の支払額42,981千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の受注動向等の業績を踏まえ、平成23年8月26日に公表致しました通期の連結業績予想を修正致しました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成23年11月4日)公表の「平成24年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成23年7月26日付けで韓国にDIGITAL Hearts Korea Co.,Ltd. を設立したため、当第2四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,139,434
受取手形及び売掛金	855,372
たな卸資産	2,499
その他	98,096
貸倒引当金	△1,894
流動資産合計	2,093,509
固定資産	
有形固定資産	197,210
無形固定資産	65,487
投資その他の資産	488,084
固定資産合計	750,782
資産合計	2,844,291
負債の部	
流動負債	
未払費用	389,067
未払法人税等	235,379
賞与引当金	26,475
その他	144,446
流動負債合計	795,368
固定負債	
資産除去債務	3,042
その他	7,609
固定負債合計	10,651
負債合計	806,020
純資産の部	
株主資本	
資本金	272,869
資本剰余金	232,869
利益剰余金	1,544,769
株主資本合計	2,050,507
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,043
為替換算調整勘定	△11,192
その他の包括利益累計額合計	△12,236
純資産合計	2,038,271
負債純資産合計	2,844,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,618,371
売上原価	1,633,491
売上総利益	984,880
販売費及び一般管理費	519,927
営業利益	464,953
営業外収益	
受取利息	1,106
助成金収入	3,609
その他	1,750
営業外収益合計	6,466
営業外費用	
支払利息	101
投資事業組合運用損	1,457
為替差損	6,027
債権売却損	733
その他	52
営業外費用合計	8,371
経常利益	463,047
税金等調整前四半期純利益	463,047
法人税、住民税及び事業税	227,645
法人税等調整額	△9,089
法人税等合計	218,555
少数株主損益調整前四半期純利益	244,491
四半期純利益	244,491

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244,491
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	73
為替換算調整勘定	△11,192
その他の包括利益合計	△11,118
四半期包括利益	233,373
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	233,373
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	463,047
減価償却費	37,786
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	171
賞与引当金の増減額 (△は減少)	580
受取利息及び受取配当金	△1,106
支払利息	101
為替差損益 (△は益)	6,080
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,457
売上債権の増減額 (△は増加)	△310,249
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△684
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△22,082
未払金の増減額 (△は減少)	9,957
未払費用の増減額 (△は減少)	151,234
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,402
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	17,124
その他	△310
小計	368,511
利息及び配当金の受取額	989
利息の支払額	△126
営業保証金の支払額	△14,000
法人税等の支払額	△116,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	239,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△76,639
有形固定資産の売却による収入	1,242
無形固定資産の取得による支出	△20,394
敷金及び保証金の差入による支出	△15,441
敷金及び保証金の回収による収入	27,800
保険積立金の積立による支出	△11,396
その他	523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	96
配当金の支払額	△42,981
リース債務の返済による支出	△1,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,767
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,236
現金及び現金同等物の期首残高	1,054,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,045,489

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループは、デバッグ事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(重要な子会社の設立)
米国における子会社設立

当社は、平成23年9月30日開催の取締役会の決議に基づき、平成23年10月10日に次のとおり子会社を設立致しました。

なお、当該子会社の資本金の額が、当社の資本金の額の100分の10以上に相当することから、当社の特定子会社に該当致します。

(1) 子会社設立の目的

当社は、北米における営業体制の強化及び事業の拡大を目的としてアメリカ合衆国に子会社を設立致しました。

(2) 子会社の概要

①商号	DIGITAL Hearts USA Inc.
②代表者	山本 純
③所在地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州
④設立年月日	平成23年10月10日
⑤主な事業内容	総合デバッグサービス/3Dコンテンツ制作サービス等
⑥資本金	70万米ドル
⑦出資比率	当社 100%出資

4. (参考)四半期財務諸表(個別)

この四半期財務諸表(個別)は「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,725	1,093,275
受取手形及び売掛金	545,122	855,372
たな卸資産	1,815	2,499
その他	68,572	100,662
貸倒引当金	△ 1,722	△ 1,906
流動資産合計	1,668,513	2,049,903
固定資産		
有形固定資産	138,028	195,535
無形固定資産	58,904	55,381
投資その他の資産	477,626	561,508
固定資産合計	674,560	812,424
資産合計	2,343,073	2,862,328
負債の部		
流動負債		
未払費用	238,197	385,847
未払法人税等	122,573	235,379
賞与引当金	25,894	26,475
その他	97,569	143,539
流動負債合計	484,234	791,241
固定負債		
資産除去債務	1,493	3,042
その他	9,129	7,609
固定負債合計	10,622	10,651
負債合計	494,857	801,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,821	272,869
資本剰余金	232,821	232,869
利益剰余金	1,343,691	1,555,740
株主資本合計	1,849,333	2,061,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 1,117	△ 1,043
評価・換算差額等合計	△ 1,117	△ 1,043
純資産合計	1,848,216	2,060,435
負債純資産合計	2,343,073	2,862,328

(2) (参考)四半期損益計算書(個別)

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,881,611	2,618,371
売上原価	1,148,373	1,625,895
売上総利益	733,238	992,475
販売費及び一般管理費	518,531	516,555
営業利益	214,707	475,920
営業外収益		
受取利息	1,151	1,105
助成金収入	—	3,609
その他	544	1,750
営業外収益合計	1,696	6,465
営業外費用		
支払利息	—	101
投資事業組合運用損	1,597	1,457
為替差損	530	6,027
債権売却損	301	733
その他	56	52
営業外費用合計	2,485	8,371
経常利益	213,918	474,014
特別利益		
貸倒引当金戻入額	177	—
受取補償金	18,671	—
特別利益合計	18,849	—
特別損失		
固定資産除却損	6,810	—
事務所移転費用	2,000	—
本社移転費用	2,512	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,384	—
特別損失合計	19,707	—
税引前四半期純利益	213,060	474,014
法人税、住民税及び事業税	106,695	227,645
法人税等調整額	△ 9,042	△ 9,094
法人税等合計	97,652	218,550
四半期純利益	115,407	255,463

(3) (参考)四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	213,060	474,014
減価償却費	25,251	37,365
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△317	183
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,464	580
受取利息及び受取配当金	△1,151	△1,105
支払利息	—	101
為替差損益(△は益)	155	6,080
投資事業組合運用損益(△は益)	1,597	1,457
固定資産除却損	6,810	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,384	—
売上債権の増減額(△は増加)	△180,312	△310,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,518	△684
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,298	△24,348
未払金の増減額(△は減少)	△3,193	9,957
未払費用の増減額(△は減少)	88,838	147,673
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,747	15,402
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,799	16,120
その他	—	△310
小計	164,317	372,239
利息及び配当金の受取額	1,147	989
利息の支払額	—	△126
営業保証金の支払額	—	△14,000
法人税等の支払額	△73,644	△116,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,821	242,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△45,455	△74,639
有形固定資産の売却による収入	—	1,242
無形固定資産の取得による支出	△5,760	△8,945
関係会社株式の取得による支出	—	△76,683
敷金及び保証金の差入による支出	△8,216	△11,836
敷金及び保証金の回収による収入	8,176	27,800
保険積立金の積立による支出	△7,393	△11,396
その他	—	523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,649	△253,933
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	80	96
配当金の支払額	△28,650	△42,981
リース債務の返済による支出	—	△1,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,570	△44,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,445	△55,395
現金及び現金同等物の期首残高	868,569	1,054,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	873,015	999,330

5. 補足情報

(1) 事業等のリスク

当第2四半期連結会計期間において、韓国に子会社を設立したことに伴い、当社における事業リスクを検討した結果、前事業年度の決算短信に記載した事業リスクの「(事業の内容について)⑬海外展開について」の記載内容を、表題も含め以下のとおり変更しております。

⑬ 海外事業について

当社グループは、ユーザーデバッグサービスの提供事業を軸として、幅広いビジネス展開を積極的に行っていく方針であり、そのため、進出先の市場動向の調査や参入形態の考慮を十分に行い、事業リスクの軽減を図りながら、海外における子会社設立、合弁事業等の展開を推進しております。

しかしながら、当該進出国の事業環境の変化等により計画どおり進まない場合には、投下資本を回収できず、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

その他、予期せぬ法律または規制の変更、大規模な自然災害の発生、政治経済の変化、為替変動、商習慣の相違、雇用制度や労使慣行の相違、不利な影響を及ぼす租税制度の変更等により、当社グループの事業や業績に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、株式会社デジタルハーツにおける生産、受注及び販売の状況を記載しております。

なお、当社グループの報告セグメントはデバッグ事業のみであり、デバッグ事業においては事業分野別に記載しております。

① 生産実績

事業の特性上、該当事項はありません。

② 受注実績

当社のデバッグ事業は、業務の請負若しくは人材の派遣により業務が実施され、主にサービスの提供時間に対して課金するシステムを採用しているとともに、受注から販売までの所要日数が短く常に受注残高は僅少であり、期中の受注高と販売実績とがほぼ対応するため、記載を省略しております。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
		金額(千円)	前年同四半期比(%)
デバッグ 事業	コンシューマゲームリレーション	1,360,885	166.7
	デジタルソリューションリレーション	544,236	140.5
	アミューズメントリレーション	712,631	105.1
その他の事業		618	—
合計		2,618,371	139.2

(注) 1. 平成23年4月の組織変更に伴いリレーション区分を変更したため、前年同四半期比はサービス移管による組替後の数値にて記載しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社バンダイナムコゲームス	—	—	287,818	11.0

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 前第2四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、当該割合が100分の10以上である相手先がないため記載を省略しております。